



平成 30 年 10 月 25 日

各 位

会 社 名 SMK株式会社
代表者名 代表取締役社長 池田 靖光
(コード番号 6798 東証第1部)
問合せ先 常務執行役員 大垣 幸平
(TEL. 03-3785-1111)

第2四半期業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 30 年 4 月 26 日に公表いたしました平成 31 年 3 月期第 2 四半期累計期間（平成 30 年 4 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日）の業績予想と本日公表の実績に差異が生じたのでお知らせいたします。また、通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成31年3月期第2四半期（累計）連結業績予想数値と実績の差異（平成30年4月1日～平成30年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想（A）	百万円 28,500	百万円 △200	百万円 100	百万円 0	円 銭 0.00
今回実績（B）	28,101	△869	278	122	18.52
増減額（B－A）	△398	△669	178	122	
増減率（％）	△1.4	—	178.2	—	
（ご参考）前期第2四半期実績 （平成30年3月期第2四半期）	29,393	598	1,095	900	136.15

2. 平成31年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 62,500	百万円 1,000	百万円 1,600	百万円 1,100	円 銭 166.42
今回修正予想（B）	59,000	△600	400	200	30.27
増減額（B－A）	△3,500	△1,600	△1,200	△900	
増減率（％）	△5.6	—	△75.0	△81.8	
（ご参考）前期実績 （平成30年3月期）	59,786	485	358	△288	△43.63

（注）当社は、平成 30 年 10 月 1 日付で普通株式 10 株につき 1 株の割合で株式併合を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1 株当たり四半期（当期）純利益を算定しております。

3. 差異及び修正の理由

平成31年3月期第2四半期累計期間の実績につきましては、売上高は車載市場では自動車の電子化の進展を背景に伸張しましたが、情報通信市場における競合メーカーとの競争激化や、産機市場における主力製品の普及の一巡、家電市場における新製品の立上げ遅れ等により、前回予想を下回りました。営業利益は、固定費削減に努めましたが、プロダクトミックスの影響や新製品関連の生産コスト増加等の減益要因により前回予想を大幅に下回りました。経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は円安による為替差益7億5千9百万円を計上した結果、前回予想を上回りました。

通期業績予想につきましては、第2四半期累計期間の業績悪化に加え、第3四半期以降の決算進捗状況を踏まえて下期見通しを検討した結果、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益をそれぞれ下方修正いたします。

下期につきましては、堅調な車載市場における受注に加え、家電市場における主力製品の販売の本格化が見込まれるものの、情報通信市場、産機市場の受注が低迷し、通期の売上高は想定を大幅に下回る見込みです。このため、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益も前回予想を下回る見込みです。

なお、業績予想の前提となる第3四半期以降の為替レートは、1米ドル110円を想定しております。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであって、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があることをご承知おきください。

以 上